沖縄スポーツ産業クラスターの形成に向けて

- ●「日本再興戦略2016」における名目GDP600兆円に向けた「官民戦 略プロジェクト10」にて、スポーツの成長産業化を提案
- ●具体的目標として、KPI(数値目標)を スポーツ市場規模 5.5兆円 (2015) →15兆円 (2025) スポーツ実施率の向上 40.4% (2015) →65% (2021)
- ●具体的施策として、①スタジアム・アリーナ改革、②スポーツコンテ ンツホルダーの経営力強化、新ビジネス創出の推進、③スポーツ分野 の産業競争力強化

①プロ・アマスポーツキャンプ(合宿)のメッカ

②県出身トップアスリート(宮里藍選手等)の活躍

③プロスポーツクラブの誕生

(琉球ゴールデンキングス、FC琉球、沖縄SV、 琉球コラソン、ヴィクサーレ沖縄FCナビ-タ等)

④トップアスリート・トレーナーの移住、スポーツベンチャー等の胎動

⑤スポーツ関連事業者の多さ



沖縄のポテンシャル

- ①温暖な気候
- ②海洋性リゾート地としてのブ ランド
- ③成長著しいアジアとの近接性 (東アジアの中小)
- ④比較的ハイスペックな施設の 存在
- ⑤ 多様な地域資源 (海洋亜熱帯 性生物資源の宝庫)

東アジアにおけるスポーツビッ グイベント開催による注目度 の高まり

- ⇒ヒト、カネ、モノ、チエを沖縄に呼び 込むチャンス到来!
- 2018 平昌冬季オリンピッ ク・パラリンピック(韓)
- 2019 ラグビーワールドカッ プ(日)
- 2020 東京オリンピック・パ ラリンピック(日)
- 2021 ワールドマスターズ ゲームズ(日本)
- 2022 北京冬季オリンピッ ク・パラリンピック(中)

沖縄スポーツ産業クラスターの形成 ~クラスター手法によるスポーツ産業振興~

ポテンシャル・国内外のスポーツへの関心 の高まりを受け、五つの戦略でスポーツ産 業クラスターを目指す

戦略1:県内スポーツ関連事業者、産学官 金のネットワーク化

- ●シェルパ会合(異業種交流会)、SNS 活用
- ●アドバイザリーボード

戦略2:国内外から沖縄に誘引力を高める 核づくり

- ●スポーツサイエンスの世界的な拠点
- ●スポーツ経営人材育成の拠点

戦略3:スマート・ベニューの創出促進と サービス高度化

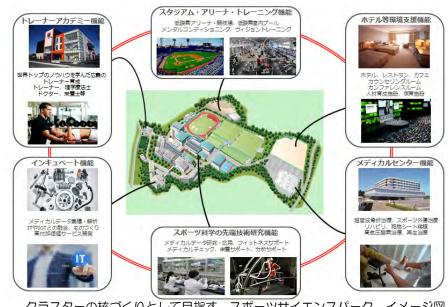
●プロフィットセンター化、ワンストッ プサービス化

戦略4:オープンイノベーションを誘発す るイベント(スポーツエキスポ)の開催

 Sports Industry in South Island Okinawa

戦略5:民間主導の自立的発展を目指す

●クラスター推進体制のあり方検討



クラスターの核づくりとして目指す、スポーツサイエンスパーク イメージ図

スポーツイベントの観光等による経済効果

沖縄県内における2016年プロ野球春季キャンプの経済効果は、 100億400万円と過去最高を記録(りゅうぎん総合研究所発表)